

令和6年度第1回森林^{もり}の未来を考える懇談会 発言要旨

- 1 日 時 令和6年5月30日（木）14：00～16：00
- 2 場 所 杉妻会館 4階 牡丹
- 3 出席委員 7人
- 4 議 事

(1) 議題ア「令和5年度森林環境基金事業の実績について」について
事務局が資料2により説明し委員の意見を求める。意見等は次のとおり。

【鈴木委員】

花粉の少ない森林づくり事業の予算が倍になっているが、理由は何か。また、花粉症対策苗木を育成し配布しているということだが、無償か有償か。

【森林整備課】

1点目については、花粉の少ない苗木の展示林を新設したため予算が増えている。2点目については、苗木の配布先は、ボランティアで植樹活動をする団体に対して無償で提供している。

【鈴木委員】

林業普及推進事業の予算が6割程増えているが、理由は何か。

【森林計画課】

林業祭の伐木チャンピオンシップなどのイベント内容の充実を図ったことによる増加となっている。

【原田委員】

林業祭の規模が大きくなったということか。

【森林計画課】

林業祭の中身を精査し、充実を図った。

【鈴木委員】

県立学校における森林環境学習推進事業でレンゲツツジやエビネランを移植している。私の認識では宇津峰山には自生していなかったはずなので、別の場所から持ってきて移植していると思う。種の攪乱に繋がるのではないか。趣旨は良いが、環境も考

えて指導すべきと思う。

【高校教育課】

ご意見ありがとうございます。こちらの方で高校側に指導していきたい。

(2) 議題イ「令和6年度森林環境基金事業の実施について」について

事務局が資料3により説明し委員の意見を求める。意見等は次のとおり。

【鈴木委員】

花粉の少ない森林づくり事業で予算を増やしているが、花粉の少ないスギは材として、これまでのスギと遜色はないのか。生育について今までのスギと成長具合は異なるのか。

【森林整備課】

材については、花粉の少ない苗木は2種類あり、極めて花粉の少ない苗木の少花粉苗木、花粉の量が半分程度の苗木の特定苗木がある。少花粉苗木の材の確認について把握できていないが、特定苗木については、材質が優れているかつ、花粉が少ない苗木を特定苗木としているので材質は問題ないと言える。

生育についても、特定苗木は通常の苗木と比較して1.5倍ほど成長が良いのが確認できている。県では、今までよりも花粉が半分以下で成長も良く、材質も劣らない特定苗木を今後も増やしていこうと事業を進めている。

(3) 福島県森林環境税の今後について

ア「森林づくりタウンミーティングについて」について

事務局が資料4及び資料5により説明し委員の意見を求める。意見等は次のとおり

【原田委員】

タウンミーティングの日程はこれで確定か。

【森林計画課】

委員の皆様からご了承いただければこの日程で決定としたい。

【丸委員】

森林づくりの提言について、目指すものは変わらないと思うが、現状は変わると思う。この頃メガソーラーが大規模に作られている。今までなかったことなので、現状が変

わったところは変える必要があるのではないか。

【農林水産部次長】

委員の皆様のご意見を踏まえ、現状のところを中心に調整を検討し、まとめて参りたい。基本的に森林づくりの提言の目指す姿を中心に踏襲して参りたいと考えている。

【根本委員】

タウンミーティングについて、地域住民の募集はどのような方法で実施するのか。

【森林計画課】

ホームページなどでの広報や各農林事務所からお知らせする。

【根本委員】

色んな人に森林環境基金の使い道を伝え、より良いものにするにはどうしたらいいかの意見を聞き、より良く基金を使っていくためにタウンミーティングを実施することを周知して、色んな方が来れるように募集方法を考えてもらいたい。

【森林計画課】

出来るだけ幅広く声をかけられるように、県や市のイベントでも声をかけていきたい。

【鈴木委員】

幅広い年齢、職種の方を多く呼んでもらいたい。

ほとんどの県民の方は、税金として取られているのを知らない人が多い。森林環境税を知っている人も一握りだと思う。PRも大切だと思う。

また、タウンミーティングは平日の夜間に開催するのは適切なのか。開催時間等は検討した方がいいのではないか。

【森林計画課】

多くの方が入る会場や委員の都合もあり、この日程で進めたい。

小中学校の方などできるだけ幅広く声をいただきたいと考えており、夏休みの時期に配慮しながら日時を設定した経緯がある。

【原田委員】

開催案内はいつごろか。

【森林計画課】

委員の皆様からご了承を得られれば、明日からでも案内したいと考えておりました。

【小松委員】

提言で海岸防災林の復旧について触れられているが、進捗状況はどのような感じか。またこれからの活動はどういうことを実施するのか。

【森林保全課】

全体で 620ha の海岸防災林を整備することとしている。面積ベースでは 98%程度事業が進んでいる。今後は植栽後の除伐や間伐、草刈といったことが必要になっていくと考えている。

【白井委員】

タウンミーティングの周知に関して、県では SNS はやっているのか。

【森林計画課】

Instagram や Facebook などいくつか SNS を行っているのでも、そこでも広報していきたい。

【白井委員】

森林づくりの提言を見ると、若い世代の教育に重点を置かないといけない。また、森林に係る産業の人たちも参画していかないといけないと思うし、この提言を広める必要もあると思う。学校の先生を中心に生徒たちにも広げられるように、発信する何かがあるのではないかと感じている。

【菅野委員】

森林環境基本枠の森林環境学習は子供たちのためになっている。山間部、都市部の子ども関係なく、森林への関心は薄い。森林環境学習によって、森林の関心や森林の保全の考えを義務教育の段階から学ぶのは意義があると感じている。

自然観察もいいが、土砂崩れなどの防災関係も喫緊の課題に感じている。ふくしま森マップで危険個所を見たが、市町村のハザードマップと連携させて、大雨や地震によって危険な場所を学ぶことを森林環境教育に取り入れるのがいいのではないかと感じている。

また、ふくしま森マップを開くと重いので軽くしてほしい。

【森林計画課】

森林づくり指導者養成事業があり、もりの案内人やグリーンフォレスターの方に活躍いただいている。この方々に、そういった要望があることをお伝えしたい。また、こちらでできることがあれば対応していきたい。

ふくしま森マップについても内容を精査して参りたいと思う。

(2) その他

特になし。